

野々市小学校施設整備事業

事業者選定結果

平成20年6月

野 々 市 町

平成19年12月21日に「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。）に基づき公募いたしました「野々市小学校施設整備事業」（以下「本事業」という。）に係る本事業を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）の選定に関する評価結果をここに公表いたします。

平成20年6月30日

野々市町長 栗 貴 章

野々市小学校施設整備事業 事業者選定結果

目 次

1. 事業者選定の経緯等	1
2. 事業者選定の体制等	3
3. 審査結果	3
3.1 入札参加資格審査	3
3.2 入札書類審査.....	4
3.2.1 基礎項目審査.....	4
3.2.2 加点項目審査.....	4
3.2.3 入札価格に対する価格評価点の結果	5
3.2.4 総合評価.....	5
3.3 落札者の決定.....	6
3.4 本町の財政負担の削減効果	6

1. 事業者選定の経緯等

(1) 事業者選定の経緯

事業者選定までの主な経緯は、以下のとおりである。

日 程	経 緯
平成 19 年 9 月 28 日	① 実施方針の公表
平成 19 年 11 月 16 日	② 特定事業の選定・公表
平成 19 年 12 月 21 日	③ 入札公告、入札説明書等の公表
平成 19 年 12 月 26 日	④ 入札説明会
平成 20 年 5 月 9 日	⑤ 入札参加資格審査書類（参加表明書、資格審査申請書類）及び入札書類（入札書及び事業提案）の受付締切
平成 20 年 6 月 18 日	⑥ 開札
平成 20 年 6 月 30 日	⑦ 審査結果通知、結果の公表

(2) 事業者選定方式

本事業を実施する事業者には、本施設の整備、維持管理業務の各業務を通じて、効率的かつ効果的に、併せて安定的かつ継続的なサービスの提供を求めるものであり、事業者の幅広い能力及び経営ノウハウ等を総合的に評価して選定することが必要である。そこで、事業者の選定にあたっては、入札価格及び施設整備の性能等、野々市町（以下「本町」という。）の要求するサービス水準との適合性や維持管理業務における遂行能力、事業計画の妥当性、資金調達計画の確実性、リスク負担能力等を総合的に評価し、落札者を決定する総合評価一般競争入札方式により行った。

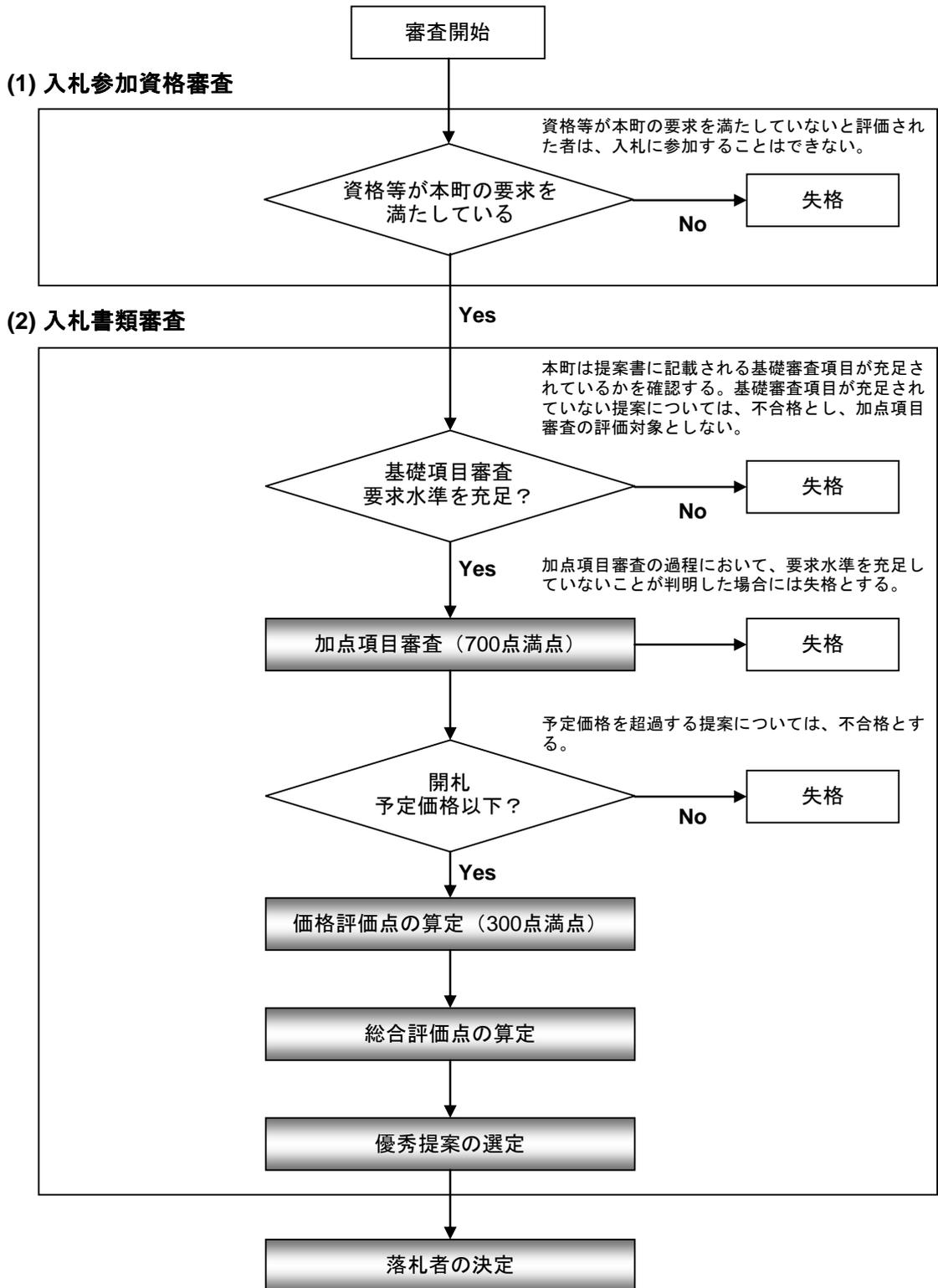
(3) 事業者選定方法及び手順

事業者の選定は、入札参加資格審査及び入札書類審査により行った。

入札参加資格審査においては、入札参加者の参加資格について本町が審査を行い、入札書類審査においては、入札価格及び本事業の各業務に関する具体的な提案内容の審査を行った。

なお、入札参加資格審査の結果は、入札書類審査の対象となる入札参加者を選定する目的のみ用い、入札書類審査における評価には反映させないこととした。

審査手順は、以下のとおりである。



2. 事業者選定の体制等

(1) 事業者選定の体制

入札書類審査に当たっては、本町が基礎項目審査を行ったうえで、本町が設置した学識経験者等で構成する野々市小学校施設整備事業事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）が、入札参加者から提出された入札書類の加点項目審査を行い、本町に選定結果を報告した。

本町は、事業者選定委員会からの報告を受けて、落札者を決定した。

(2) 事業者選定委員会

事業者選定委員会の構成は、以下のとおりである。

委員長	早瀬 勇	前金沢星稜大学 学長
副委員長	竺 覚暁	金沢工業大学環境・建築学部 教授
委員	川崎 寧史	金沢工業大学環境・建築学部 准教授
委員	加藤 隆弘	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属教育実践支援センター 准教授
委員	田中 宣	野々市町 副町長（前教育委員会 教育長）

3. 審査結果

3.1 入札参加資格審査

入札参加者は、以下の4グループであり、各グループの構成員（代表企業及び構成企業）及び協力企業が、入札説明書に示す参加資格の要件を満たしているかどうかを審査した。この結果、すべての企業が資格を満たしていることを確認した。

グループ名	構成企業名
掬水 PFI グループ	代表企業：株式会社掬水 PFI 構成企業：みづほ工業株式会社 株式会社治山社 株式会社久保建築 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 金沢支店
鴻池グループ	代表企業：株式会社鴻池組 構成企業：株式会社中島建築事務所 株式会社豊蔵組 菱機工業株式会社 米沢電気工事株式会社 常沢ビルサービス株式会社

グループ名	構成企業名
佐藤工業グループ	代表企業：佐藤工業株式会社 金沢営業所 構成企業：兼六建設株式会社 株式会社河合組 北陸電気工事株式会社 金沢支店 株式会社ホクタテ 金沢支店
大和リースグループ	代表企業：大和リース株式会社 金沢支店 構成企業：株式会社日総建 株式会社熊谷組 北陸支店 株式会社清水建築 株式会社近藤工務店 株式会社三晃空調 株式会社東京エネシス 株式会社アイビックス北陸

3.2 入札書類審査

3.2.1 基礎項目審査

入札参加者の提案内容が、落札者決定基準「別紙 1 基礎審査項目の評価基準」に掲げる基礎審査項目を充足しているかについて本町が審査を行った。この結果、すべての入札参加者の提案内容が基礎審査項目を充足していることを確認した。

3.2.2 加点項目審査

(1) 審査方法

前述のとおり、基礎項目審査において適格とみなされたすべての入札参加者の提案内容について、事業者選定委員会が、以下に示す加点審査項目ごとに加点基準に応じて得点(加点)を付与し、加点項目審査を行った。

【加点審査項目】

加点審査項目	配点
① 事業計画全般に関する事項	70
② 設計業務に関する事項	350
③ 建設・工事監理業務に関する事項	70
④ 維持管理業務に関する事項	140
⑤ 入札者独自の提案に関する事項	70
合 計	700

【加点基準】

	評価水準	加点比率
A	特に優れている	100%
B	A と C の中間程度	75%
C	優れている	50%
D	C と E の中間程度	25%
E	優れている点はない	0%

(2) 加点項目審査（性能評価点）の結果

前項の審査方法に基づく加点項目審査（性能評価点）の結果を以下に示す。

加点審査項目	配点	各グループの得点			
		大和リース	佐藤工業	鴻池	掬水 PFI
① 事業計画全般に関する事項	70	45.75	44.75	36.00	36.50
② 設計業務に関する事項	350	245.25	248.75	201.25	198.25
③ 建設・工事監理業務に関する事項	70	45.50	42.55	37.25	36.50
④ 維持管理業務に関する事項	140	100.50	94.50	74.50	86.50
⑤ 入札者独自の提案に関する事項	70	48.50	52.50	49.50	53.50
合計（性能評価点）	700	485.5	483.1	398.5	411.3

※ 落札者決定基準に基づき、性能評価点の合計点は小数点以下第2位を四捨五入した。

3.2.3 入札価格に対する価格評価点の結果

入札価格に対して、次式で価格評価点を与えた。価格評価点の計算に当たっては、小数点以下を四捨五入し、価格評価点の上限を 300 点とした（以下の計算式のうち、「入札価格／予定価格」の数値が 0.8 を下回る場合には 0.8 と読み替えるものとする）。なお、予定価格は、3,330,000 千円（消費税抜き）で、いずれの入札価格も予定価格内であったことを確認した。

$$\text{価格評価点} = 300 - 7500 \times \left(\frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} - 0.8 \right)^2$$

項目	各グループの得点			
	大和リース	佐藤工業	鴻池	掬水 PFI
予定価格	3,330,000,000			
入札価格	3,046,592,230	3,071,500,000	2,886,510,000	2,928,248,000
価格評価点	201	188	267	253

※ 予定価格及び入札価格は、消費税等抜き、単位円で表記

3.2.4 総合評価

性能評価点と価格評価点の合計とを次式に基づいて加算した値を総合評価点とし、これが最大となった提案を優秀提案として選定した。

$$\text{総合評価点} = \text{性能評価点（加点項目審査：700点満点）} + \text{価格評価点（300点満点）}$$

	配点	各グループの得点			
		大和リース	佐藤工業	鴻池	掬水 PFI
性能評価点	700	485.5	483.1	398.5	411.3
価格評価点	300	201	188	267	253
総合評価点	1,000	686.5	671.1	665.5	664.3
順位		1	2	3	4

3.3 落札者の決定

本町は、入札書類審査の結果に基づいて選定された優秀提案を踏まえ、大和リースグループを落札者として決定した。

3.4 本町の財政負担の削減効果

落札者の入札価格に基づき、本事業を PFI 事業として実施する場合の本町の財政負担額を算定した。その結果、本町が直接事業を実施する場合と比較して、現在価値換算で約 14.9% 削減されることとなった。

	本町が直接実施する場合	PFI 事業として実施する場合
財政負担額（現在価値）	3,039 百万円	2,587 百万円
指数	100.0	85.1